



Electronics for the Future

決算発表 補足資料

2025年度 第1四半期業績

2025年8月4日
ローム株式会社
広報IR部

2025年度 第1四半期 実績 業績報告 (前年同期比)



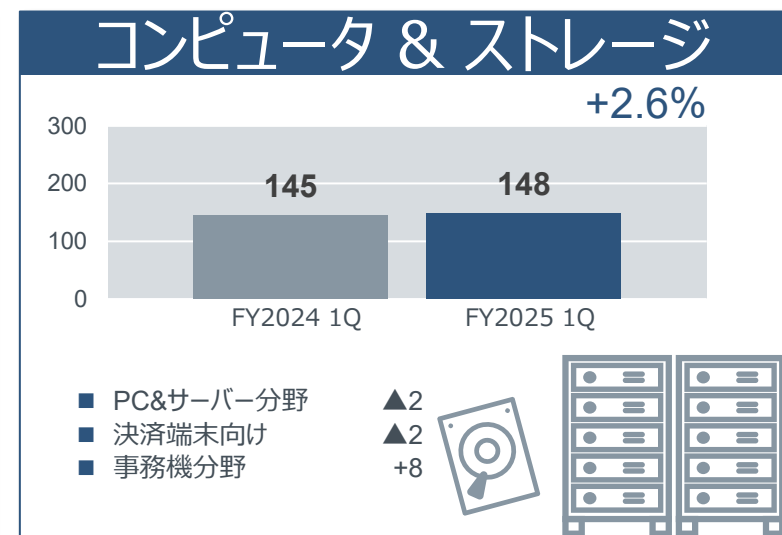
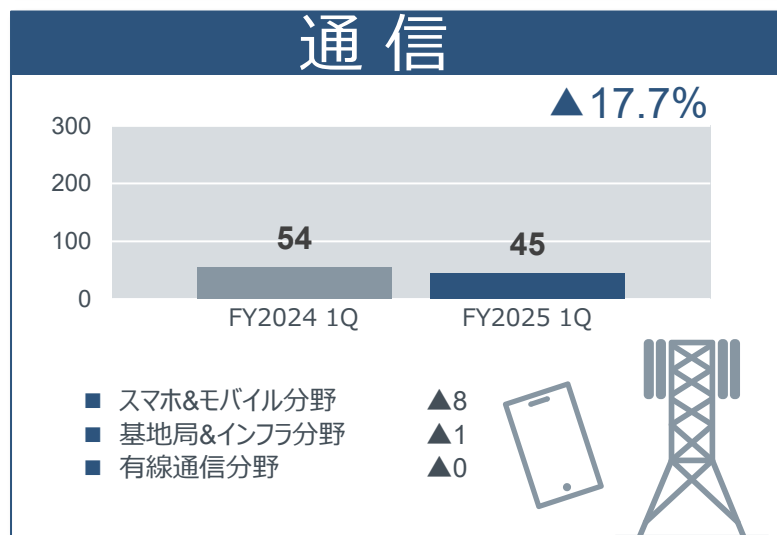
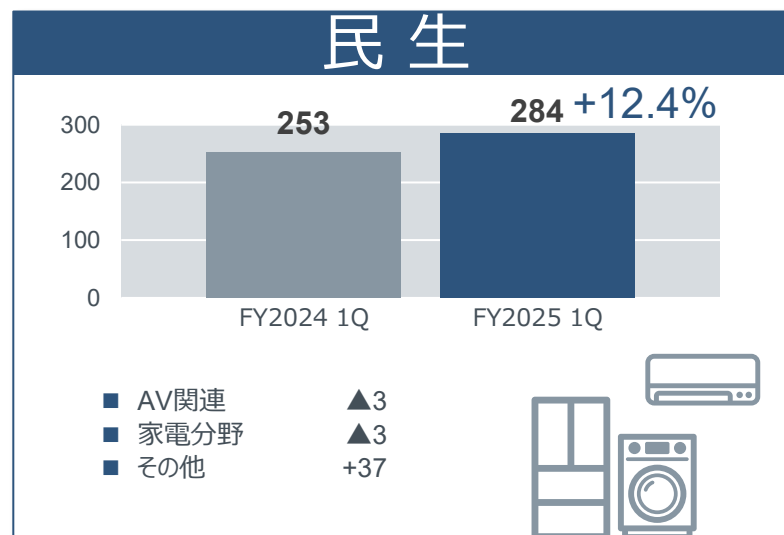
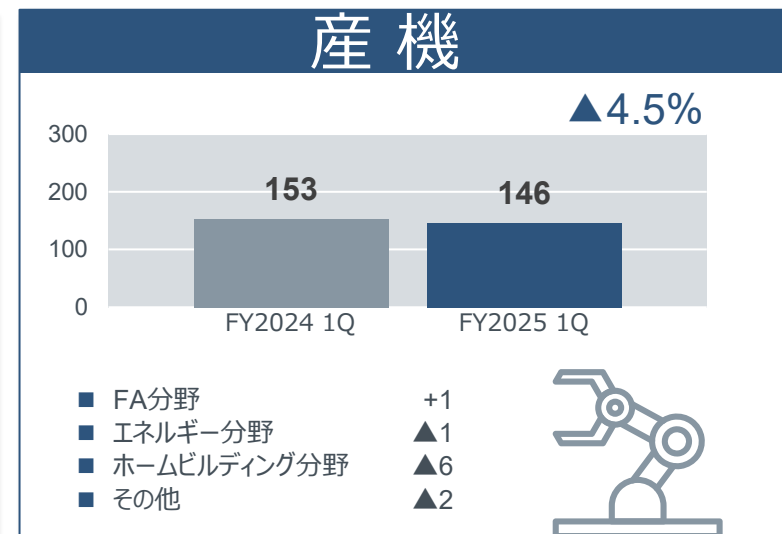
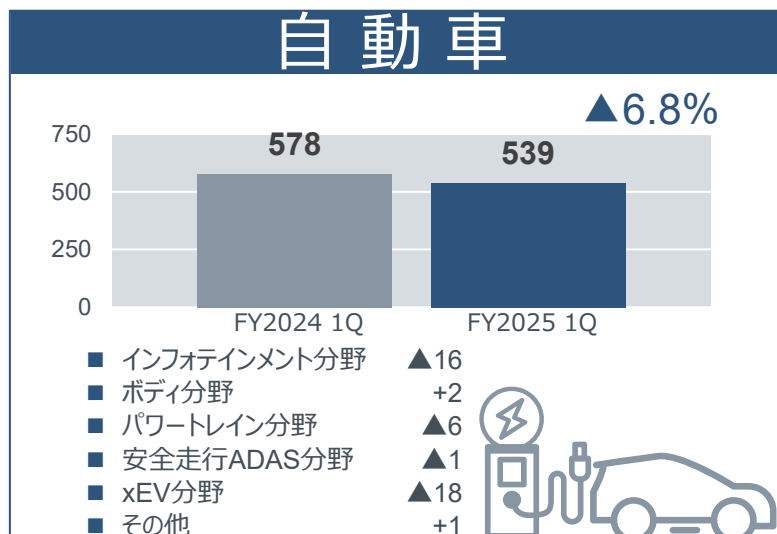
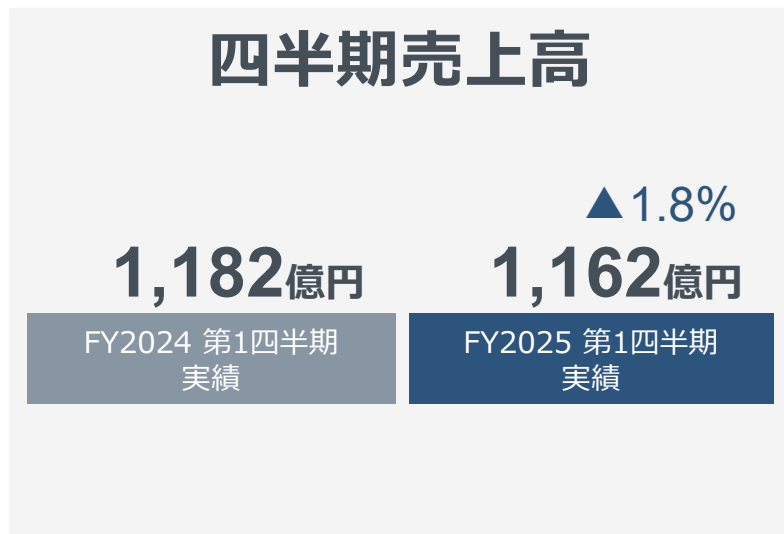
(単位：億円)

	FY2025 第1四半期 実績	FY2024 第1四半期 実績	増減額	増減率
売上高	1,162	1,182	▲20	▲1.8%
営業利益	1	12	▲11	▲84.6%
(対売上比率)	(0.2%)	(1.1%)	-	-
経常利益	24	92	▲68	▲73.1%
(対売上比率)	(2.1%)	(7.8%)	-	-
純利益	29	34	▲5	▲14.3%
(対売上比率)	(2.6%)	(2.9%)	-	-
EBITDA	133	210	▲77	▲36.6%
(対売上比率)	(11.5%)	(17.8%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (145.19円) (156.53円)

期末レート(¥/US\$) (144.81円) (161.07円)

(単位：億円)



2025年度 第1四半期 国籍別 売上の変動要因 (前年同期比)

四半期売上高

1,182億円

1,162億円

FY2024 第1四半期実績

FY2025 第1四半期実績

▲1.8%

海外売上高比率

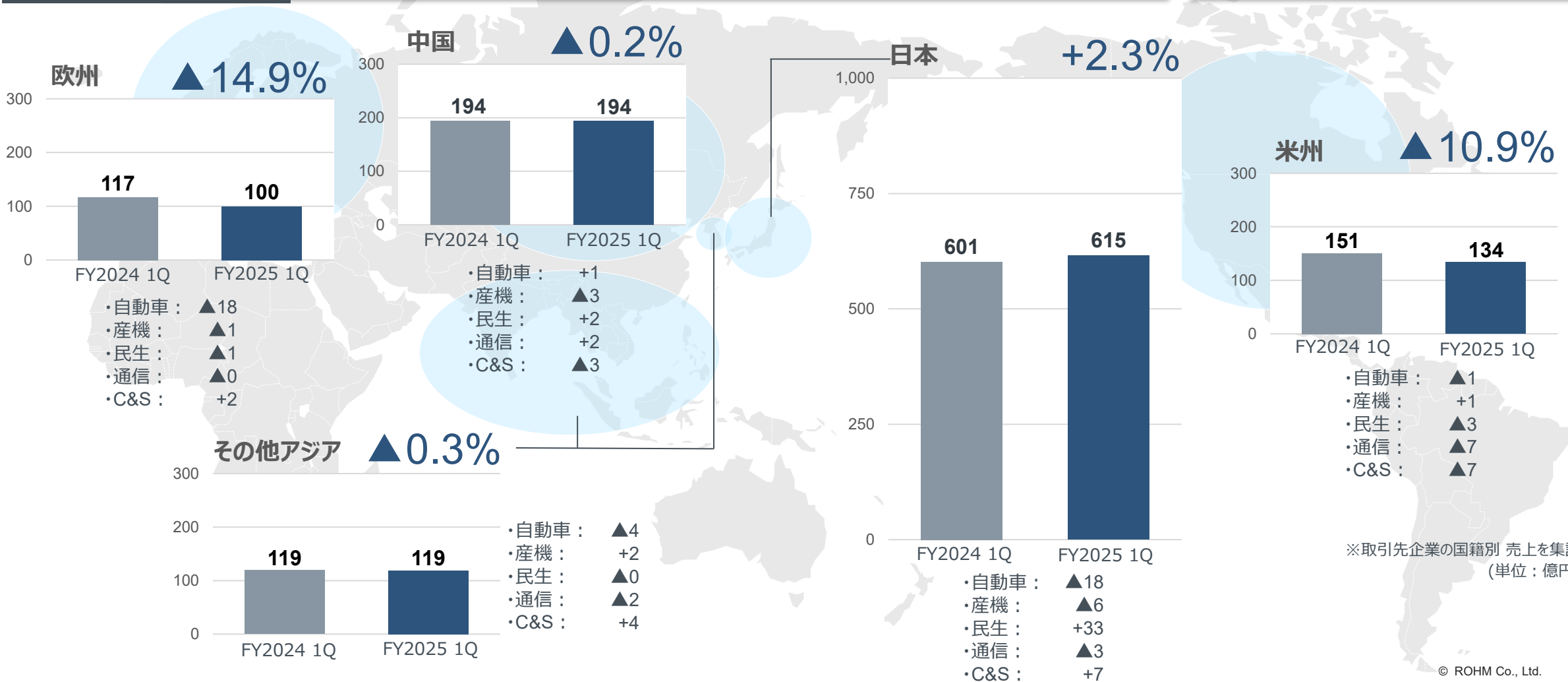
49.1%

FY2024 第1四半期

47.1%

FY2025 第1四半期

第1四半期 前年同期比

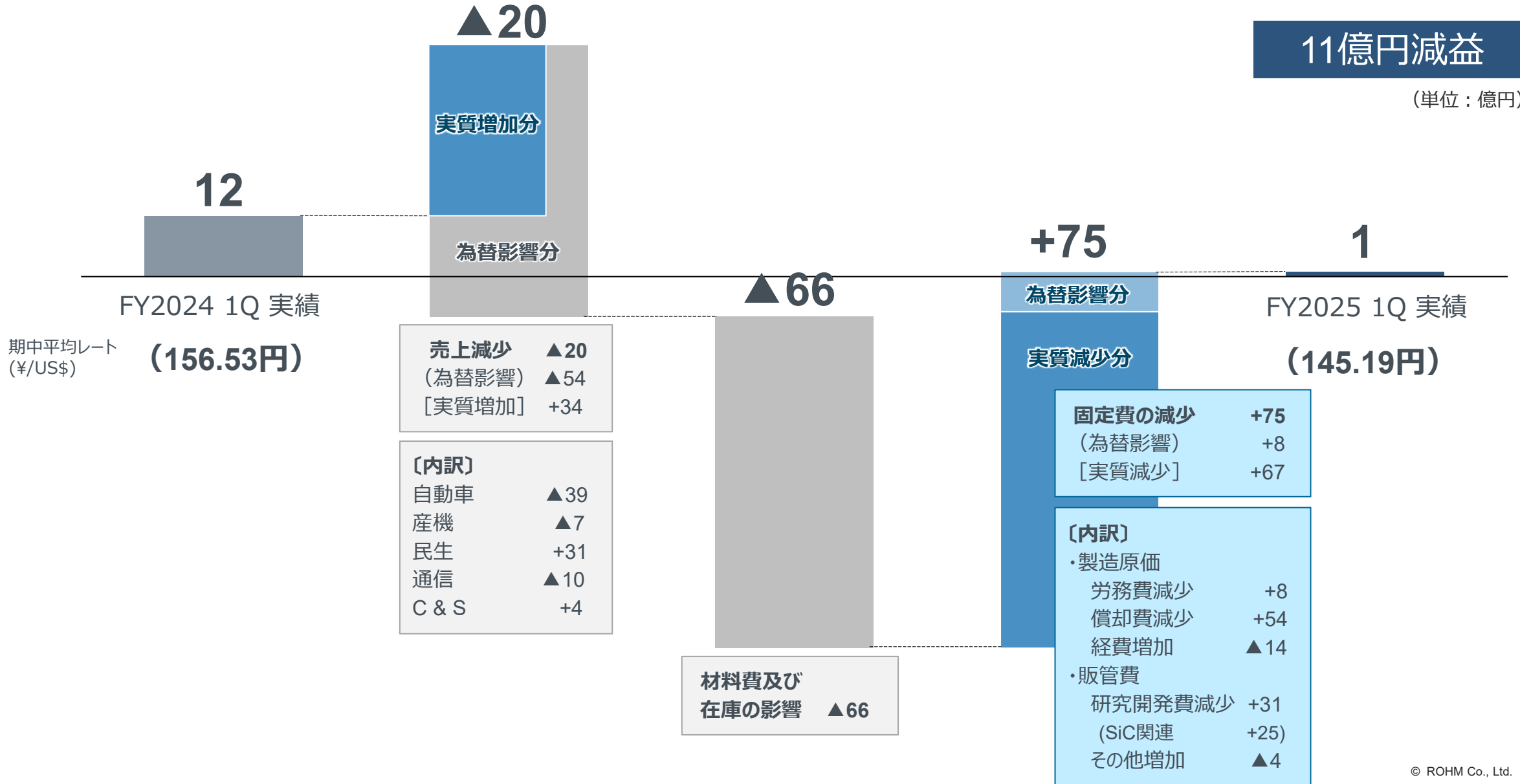


※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

2025年度 第1四半期 営業利益 増減分析 (前年同期比)

11億円減益

(単位：億円)



2025年度 第1四半期 セグメント別 (前年同期比)

(単位：億円)

		FY2025 第1四半期 実績	FY2024 第1四半期 実績	増減額	増減率
LSI	売上	548	537	+11	+2.0%
	セグメント利益	43	40	+3	+8.1%
	(利益率)	(7.9%)	(7.4%)	-	-
半導体素子	売上	470	489	▲19	▲3.9%
	セグメント利益	▲62	▲49	▲13	-
	(利益率)	(▲13.3%)	(▲10.1%)	-	-
モジュール	売上	79	89	▲10	▲10.5%
	セグメント利益	8	7	+1	+9.4%
	(利益率)	(10.8%)	(8.8%)	-	-
その他	売上	63	66	▲3	▲4.7%
	セグメント利益	10	7	+3	+45.1%
	(利益率)	(16.1%)	(10.6%)	-	-

2025年度 第1四半期 実績 業績報告 (直前四半期比)

(単位：億円)

	FY2025 第1四半期 実績	FY2024 第4四半期 実績	増減額	増減率
売上高	1,162	1,038	+124	+11.9%
営業利益	1	▲289	+290	-
(対売上比率)	(0.2%)	(▲27.9%)	-	-
経常利益	24	▲300	+324	-
(対売上比率)	(2.1%)	(▲28.9%)	-	-
純利益	29	▲502	+531	-
(対売上比率)	(2.6%)	(▲48.4%)	-	-
EBITDA	133	▲70	+203	-
(対売上比率)	(11.5%)	(▲6.8%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (145.19円) (152.95円)

期末レート(¥/US\$) (144.81円) (149.52円)

(単位：億円)

四半期売上高

1,038億円

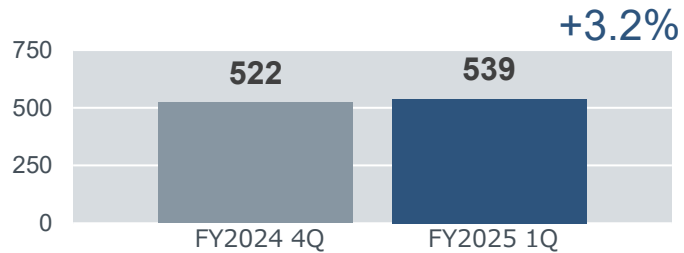
FY2024 第4四半期
実績

1,162億円

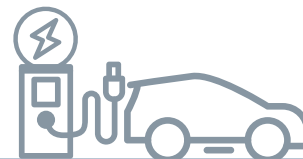
FY2025 第1四半期
実績

+11.9%

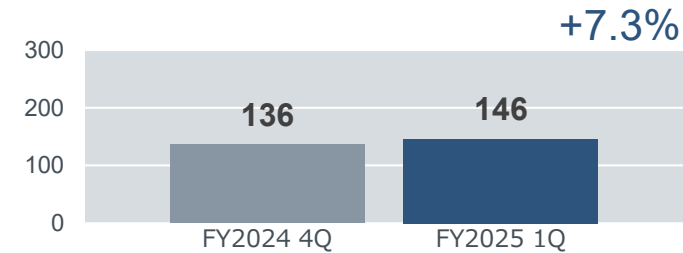
自動車



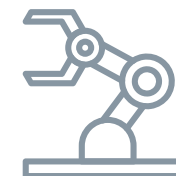
- インフォテインメント分野 +4
- ボディ分野 ▲0
- パワートレイン分野 ▲7
- 安全走行ADAS分野 +5
- xEV分野 +12
- その他 +3



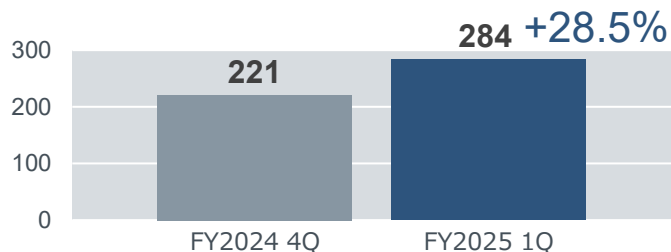
産機



- FA分野 +2
- エネルギー分野 +3
- ホームビルディング分野 ▲3
- その他 +8



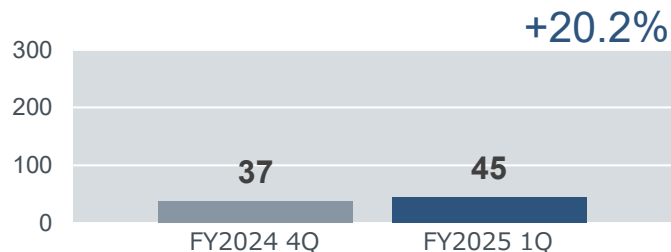
民生



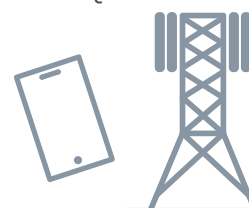
- AV関連 +1
- 家電分野 +22
- その他 +39



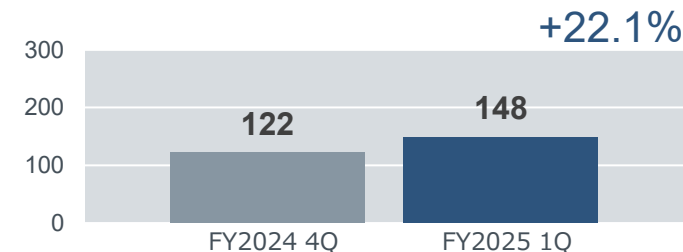
通信



- スマホ&モバイル分野 +5
- 基地局&インフラ分野 +2
- 有線通信分野 +1



コンピュータ & ストレージ



- PC&サーバー分野 +15
- 決済端末向け +8
- 事務機分野 +4



2025年度 第1四半期 国籍別 売上の変動要因 (直前四半期比)

四半期売上高

1,038億円

1,162億円

FY2024 第4四半期実績

FY2025 第1四半期実績

+11.9%

海外売上高比率

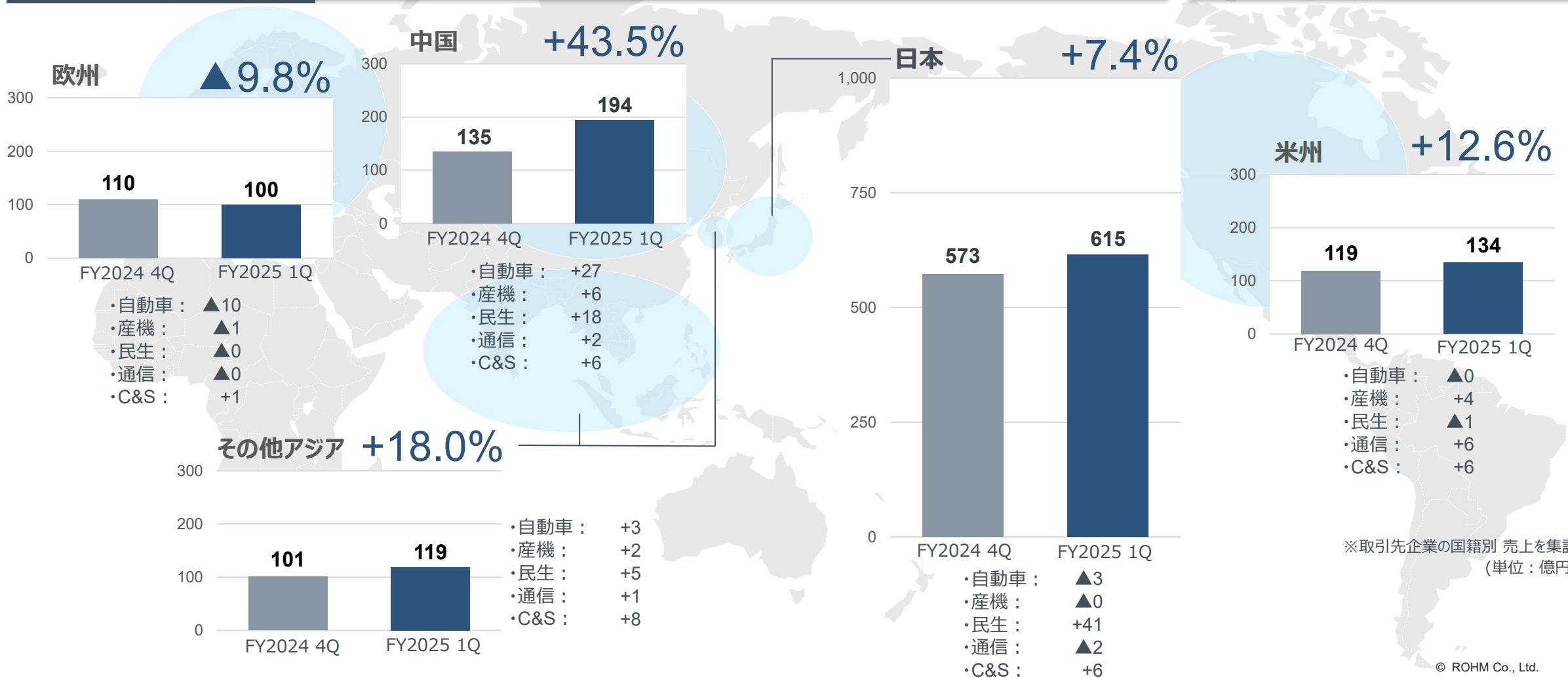
44.8%

FY2024 第4四半期

47.1%

FY2025 第1四半期

第1四半期 直前四半期比

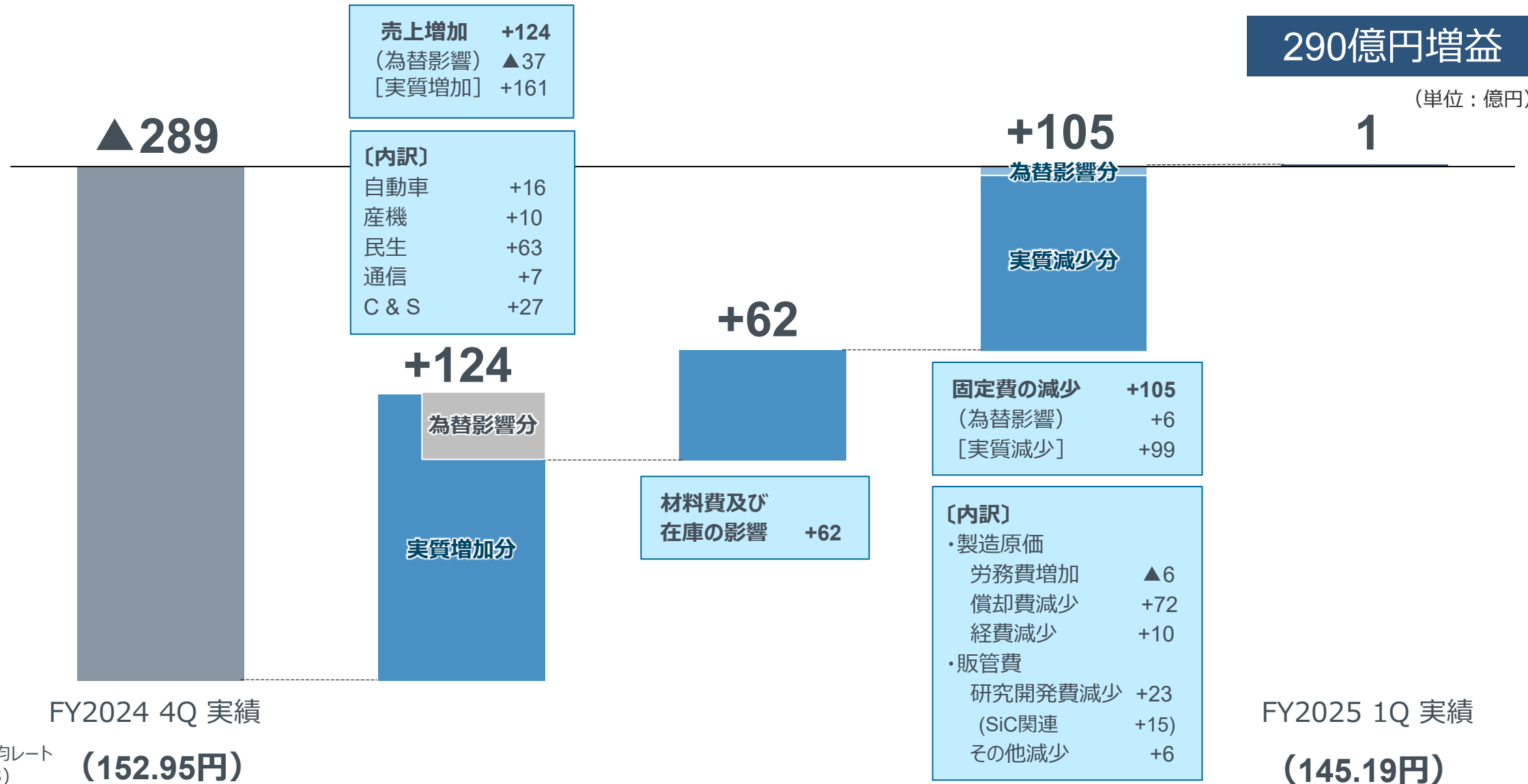


※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

2025年度 第1四半期 営業利益 増減分析 (直前四半期比)

290億円増益

(単位：億円)



2025年度 第1四半期 セグメント別 (直前四半期比)

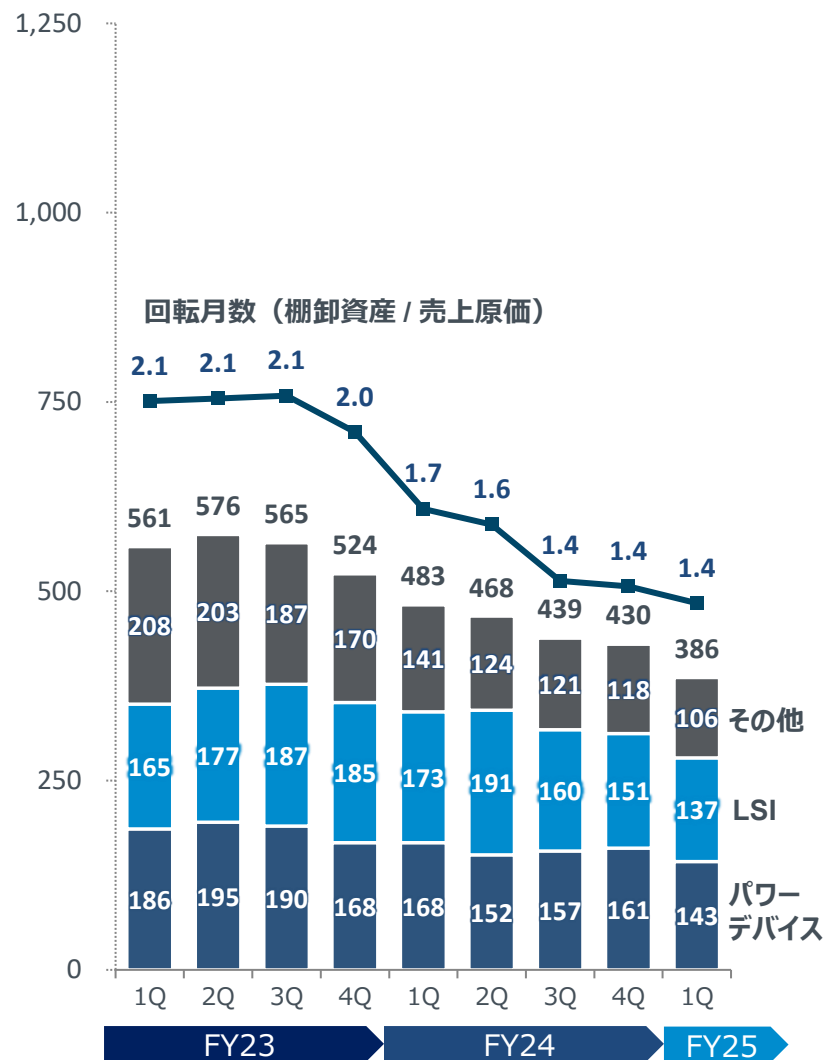
(単位：億円)

		FY2025 第1四半期 実績	FY2024 第4四半期 実績	増減額	増減率
LSI	売上	548	479	+69	+14.3%
	セグメント利益	43	▲47	+90	-
	(利益率)	(7.9%)	(▲9.9%)	-	-
半導体素子	売上	470	429	+41	+9.7%
	セグメント利益	▲62	▲254	+192	-
	(利益率)	(▲13.3%)	(▲59.2%)	-	-
モジュール	売上	79	68	+11	+16.0%
	セグメント利益	8	▲0	+8	-
	(利益率)	(10.8%)	(▲0.3%)	-	-
その他	売上	63	60	+3	+4.3%
	セグメント利益	10	6	+4	+60.9%
	(利益率)	(16.1%)	(10.4%)	-	-

在庫の状況 (金額)

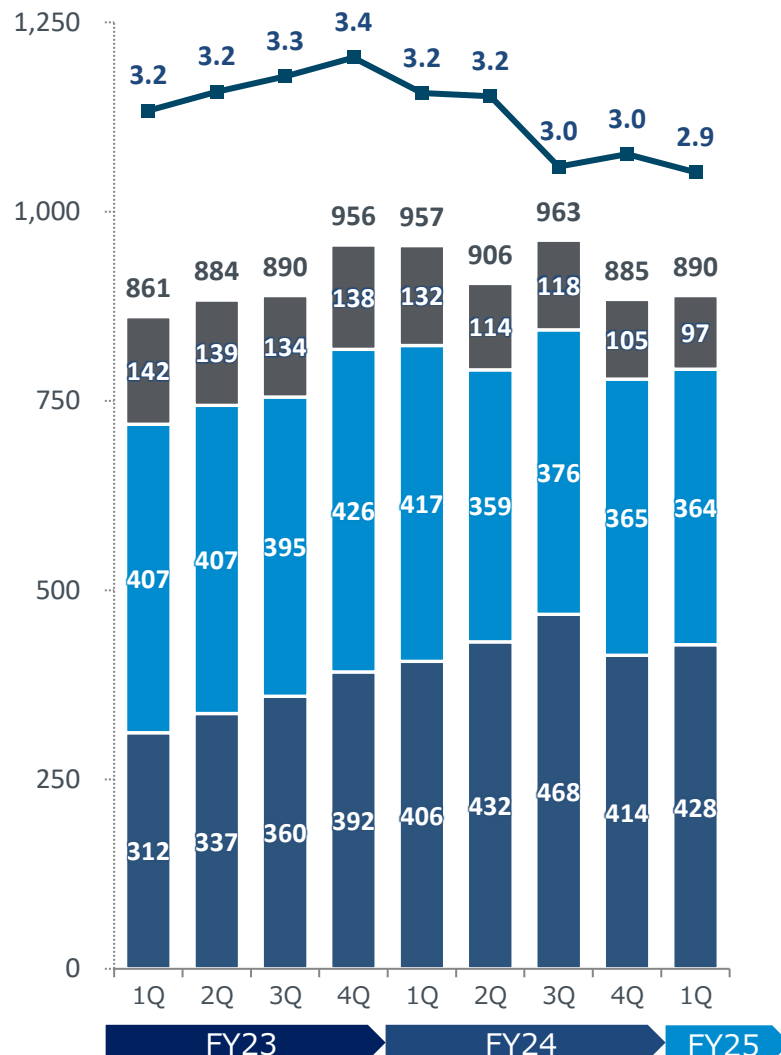
商品及び製品

(億円)



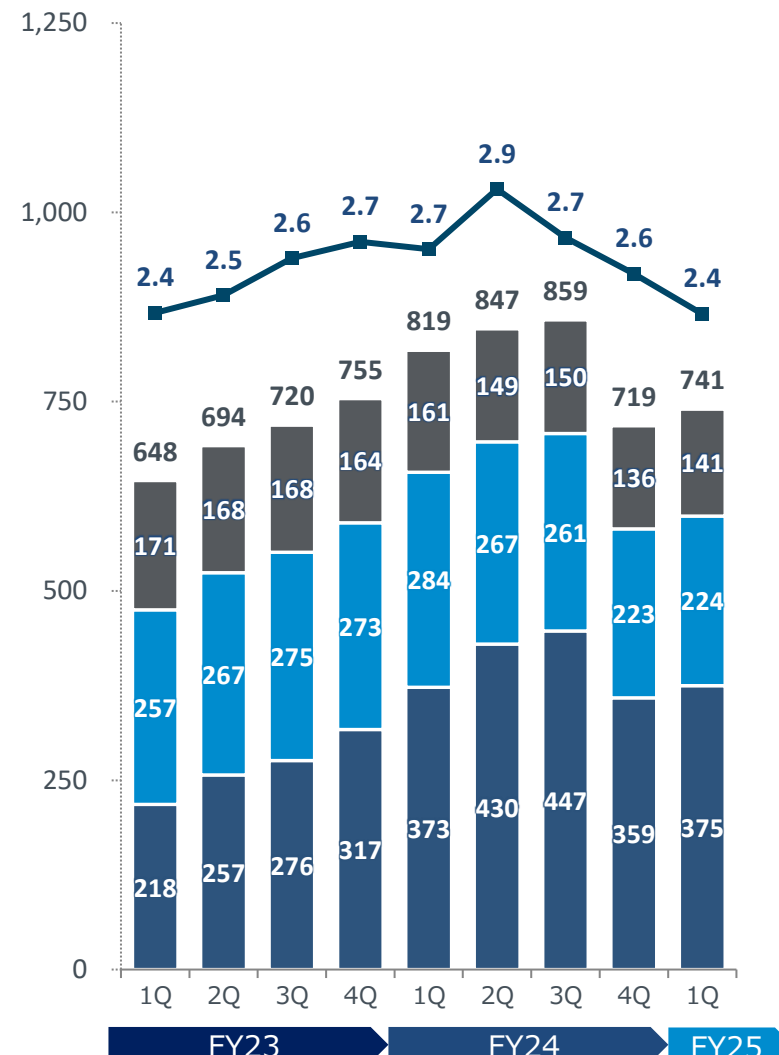
仕掛品

(億円)



原材料及び貯蔵品

(億円)



通期の業績予想について

【ご参考】 2025年5月13日公表 計画値

(単位：億円)

	FY2025 計画	FY2024 実績	増減額	増減率
売上高	4,400	4,484	▲84	▲1.9%
営業利益	40	▲400	+440	-
(対売上比率)	(0.9%)	(▲8.9%)	-	-
経常利益	110	▲296	+406	-
(対売上比率)	(2.5%)	(▲6.6%)	-	-
純利益	70	▲500	+570	-
(対売上比率)	(1.6%)	(▲11.2%)	-	-
EBITDA	656	433	+223	+51.3%
(対売上比率)	(14.9%)	(9.7%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$)

(140.73円)

(152.48円)

期末レート(¥/US\$)

(140.00円)

(149.52円)

Question	Answer
1Qの月次売上高は？	4月:411億円、5月:359億円、6月:390億円。なお、為替による決算修正が+2億円発生しております。
稼働率の状況は？ 今後の在庫レベルは？	昨年度末から若干改善したものの、稼働率は5割強と低い水準となりました。米国関税前の駆け込み需要等の影響により、想定よりも強い受注となりましたが、稼働を上げることなく在庫を消費して対応いたしました。全体として、現状の在庫水準を維持しながら下期以降に需要の回復に合わせて稼働を引き上げていきます。原材料につきましてはLTAの見直しなどを進め、適正在庫まで圧縮を進めます。
1Qの売上・利益は計画に対してどうだった？	売上に関しては、想定に対して円安に推移したことに加え、米国関税前の駆け込み需要の影響等により、全体として約5%上振れとなりました。 利益に関しては、想定以上の受注に対して在庫で対応したため、在庫の影響がマイナスに寄与したものの、売上の上振れと固定費抑制の効果により、赤字継続の想定から黒字転換となりました。
足元の需要動向は？ 2Qの市場別の見通しは？	市場における調整は底を打ったと見ておりますが、米国関税措置の動向は引き続き注視する必要があります。家電向けなど一部の分野において、米国関税に係る駆け込み需要の反動減が見られるものの、欧州・中国向けのSiCデバイスの売上が伸長すること等で、全体として堅調に推移する見通しです。
SiC事業の1Qの進捗と今後の見通しは？	当1Qにおいては、自動車向けSiCデバイスについては堅調に推移したものの、基板の外販については顧客要因により大きく調整局面となりました。BEV市場の調整が継続していることを受け、依然としてSiC市場の成長は限定的となっております。しかし、基板外販の調整は1Qで完了し、2Q以降は回復します。また、HEV/PHEVやAIサーバー向けへの採用の広がりが期待されるなど、中長期的SiCへの期待は不変であり、着実に成長を続けていけると考えております。
半導体素子部門の赤字が、QoQで大きく減少した理由は？	SiCパワーデバイス事業において、昨年度末に計上した在庫評価減の影響が剥落したことが最大の要因です。これに加え、売上の増加、償却費や研究開発費等の固定費削減効果が寄与しております。
通期業績の見通しは？	1Qにおいては売上・利益共に計画に対して順調に推移しておりますが、米国の関税措置の影響による世界経済減速のリスクが潜在し、下期以降の見通しが不透明であることから、現時点においては業績予想の修正を行っておりません。今後公表済みの業績予想に変更が必要と判断される際には、改めて業績予想の修正を行います。

Question	Answer
当1Qの設備投資311億円の内容は？	およそ7割が宮崎第二工場におけるSiCデバイスのライン立ち上げ関連するものです。2026年のデバイス生産開始に向けて、今年度までは先行投資が継続する見込みです。一方、SiC以外の投資については大幅に抑制しています。
為替感応度は？	ドルに対して円安に動くと、業績にはプラスに働きます。 1円動くと、年間ベースで売上高19億円、営業利益6億円変動します。 (ドル以外の通貨もドルと同様の変動をすると仮定した場合。)
収益性改善の施策の進捗は？	昨年度に、材料事業（Siウエハ事業）からの撤退、本社にて200名規模の早期退職を実施いたしました。また、価格適正化や不採算製品の統廃合については、現在も顧客との交渉を継続しております。 生産拠点再編については、国内・海外それぞれで対象拠点の選定は完了しており、顧客の承認など実施のための準備を進めているところです。FY26～28の3年間の第2期中期経営計画を立案中であり、11月の決算発表時に公表する予定です。売上成長よりも、利益率改善のための構造改革が中心になると考えており、各施策の詳細についても、その際に発表する予定です。
東芝との協業について進捗は？	2024年7月より東芝、及び日本産業パートナーズ（JIP）と業務提携強化に向けた協議を開始し、現在も継続しております。

- [2025-05-22 AIサーバー向けMOSFET 業界TOPのSOAとON抵抗の両立](#)
- [2025-06-19 電源設計をコンパクトに！「PFC+フライバック制御リファレンス」新登場](#)
- [2025-06-23 日経平均株価を構成する225銘柄にロームが採用](#)
- [2025-06-23 ロームのSiC MOSFETがトヨタの中国市場向け新型BEV「bZ5」に量産採用](#)
- [2025-07-10 ロームとQuanmatic、量子技術導入により半導体製造工程の効率改善に成功](#)
- [2025-07-17 超小型のCMOSオペアンプ・業界最小回路電流を実現](#)
- [2025-07-17 電子部品業界初、EVトラックによる共同輸送をロームと村田製作所が開始](#)
- [2025-07-23 ローム、公式オンライン直販サイト「ROHM Online Store」をオープン](#)
- [2025-07-31 ゾーンECUに最適なIPDが新登場！](#)



Electronics for the Future